

韓国

主要経済指標は好調を示す

1999年に10.7%の成長を達成した韓国経済は、2000年第一四半期には若干低下したものの、前期比1.8%の成長を実現した。これは年率換算で7.4%に相当する。この内訳では固定資本形成が、前期比19%増と高い伸びとなっている。さらにその中で、機械設備投資が前期比46.4%の記録的な増加を示している。前年までの外需、消費主導の成長に対し、現時点では民間企業の設備投資をエンジンとする回復が見て取れる。

5月の他の主要指標を見ると、失業率は高成長を受けて低下しており、季節調整値で3.9%と通貨危機以降の最低値を更新した。一方、生産者物価は前年同月比1.2%上昇、消費者物価は同1.3%上昇で安定した動きとなっている。為替レートも1ドル=1,120ウォンで、年初以来の安定圏内にある。年初から赤字転落が懸念されていた貿易収支も、輸出が大きく増加しており、産業資源部は速報ベースで2000年上半期の貿易収支を小幅ながら43億ドルの黒字と発表している。

このように主要経済指標から見る限りは、韓国経済は万全の状態といえる。韓国政府は6月16日、通貨危機以来最後となるIMFとの定例協議の結果を発表した。この中で2000年の成長率見通しは昨年11月時点の5~6%から、8~8.5%に引き上げられた。これは最近の状況を反映したものである。

しかし一方で、財閥の構造改革は十分な進展を見せておらず、それを反映して金融部門には大きな不安が残る状態といえる。これらの要因については後述したい。

自動車産業への外資参入続く

6月29日に大宇自動車の売却について米フォードが優先交渉権を獲得した。4月に三星自動車の仏ルノーへの売却が決定したのにつづき、外資の自動車産業への参入が決定した。同社の売却については、他に独ダイムラー・クライスラーと韓国の現代自動車の連合、米GMと伊フィアットの連合が名乗りを上げていたが、フォードはこれらを入札

価格で大きく上回った。フォードは今後、財務内容の再調査を行い8月末に買収の最終決定を行う予定である。

一方、大宇の入札に独ダイムラー・クライスラーと連合で応札した現代自動車は、ダイムラーから10%の出資を受けることを発表した。

このように韓国の自動車メーカーは、すべて欧米メーカーの資本参加を受けることとなった。こうした欧米メーカーの積極姿勢は、韓国市場にとどまらず、WTO加盟後に自動車関税の引き下げが予定される中国市場もにらみ、グローバルな分業体制の構築を目指したものと考えられる。

不安定な状況続く金融部門

1997年の通貨危機以来、銀行およびノンバンクを含む韓国の金融部門は、大規模な財政資金の投入を受け、不良債権処理とリストラに努めてきた。投入された財政資金は1999年末の時点で64兆ウォンにおよび、これは1999年の韓国の名目GDPの約13%に相当する。しかしこうした政策にも関わらず、金融部門は引き続き不安定な状況にある。

1999年末の不良債権総額は、現在の基準で66.7兆ウォンに達し、同3月時点の65.4兆ウォンから増加している。また、財政資金による資本注入を受けている銀行の株価は低迷しており、多くが額面割れとなっている。このため、政府保有株の売却による完全再民営化もめども立っていない。

こうした状況は、基本的に金融機関の主要融資先である財閥のリストラが不十分なことを反映している。現状でも韓国企業の借り入れ依存度は、台湾など他のNIESに比して並外れて高い。これは本来採算性の低い事業にも、多くの資金が投じられていることを示している。輸出主導の景気回復はこうした構造面の問題を、表面的に覆い隠してきた。しかし今後も不良債権処理が進展しない場合、金融部門の不安定が実物経済に影響を与えることも十分予測される。一応の景気回復が実現した現時点で、金融部門及び財閥に、もう一段のリストラが望まれる。

(ERINA調査研究部研究主任 中島朋義)

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	99年4~6月	7~9月	10~12月	00年1~3月	2000年3月	4月	5月
国内総生産(%)	8.9	6.8	5.0	6.7	10.7	4.1	3.3	2.8	1.8	-	-	-
最終消費支出(%)	8.2	7.2	3.2	9.8	8.5	2.7	1.9	2.6	2.0	-	-	-
固定資本形成(%)	11.9	7.3	2.2	21.2	4.1	4.1	1.5	2.5	19.0	-	-	-
製造業生産指数(%)	12.0	8.6	5.2	7.5	25.0	5.7	7.1	7.3	2.3	-1.7	-	-
失業率(%)	2.0	2.0	2.6	6.8	6.3	6.7	5.9	4.9	4.4	4.1	4.0	3.9
貿易収支(百万USD)	4,444	14,965	3,179	41,627	28,716	7,955	6,933	7,052	2,300	953	574	-
輸出(百万USD)	125,058	129,715	136,164	132,313	143,686	35,742	35,088	42,602	39,339	14,602	13,592	14,699
輸入(百万USD)	135,119	150,339	144,616	93,282	119,752	28,760	29,759	35,667	38,820	14,220	13,344	13,326
為替レート(ウォン/USD)	771	805	951	1,399	1,190	1,192	1,194	1,174	1,126	1,117	1,110	1,120
生産者物価指数(%)	4.7	3.2	3.9	12.2	2.1	3.3	1.9	0.4	2.1	2.3	1.9	1.2
消費者物価指数(%)	4.5	4.9	4.5	7.5	0.8	0.6	0.7	1.3	1.5	1.6	1.0	1.3

(注)失業率は水準、生産者物価指数、消費者物価指数は対前年同期比伸び率、その他のパーセンテージ表示系列は前期比伸び率

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、製造業生産指数、失業率は季節調整値

貿易収支はIMF方式、輸出入は通関ベース

(出所)韓国銀行、韓国統計庁